

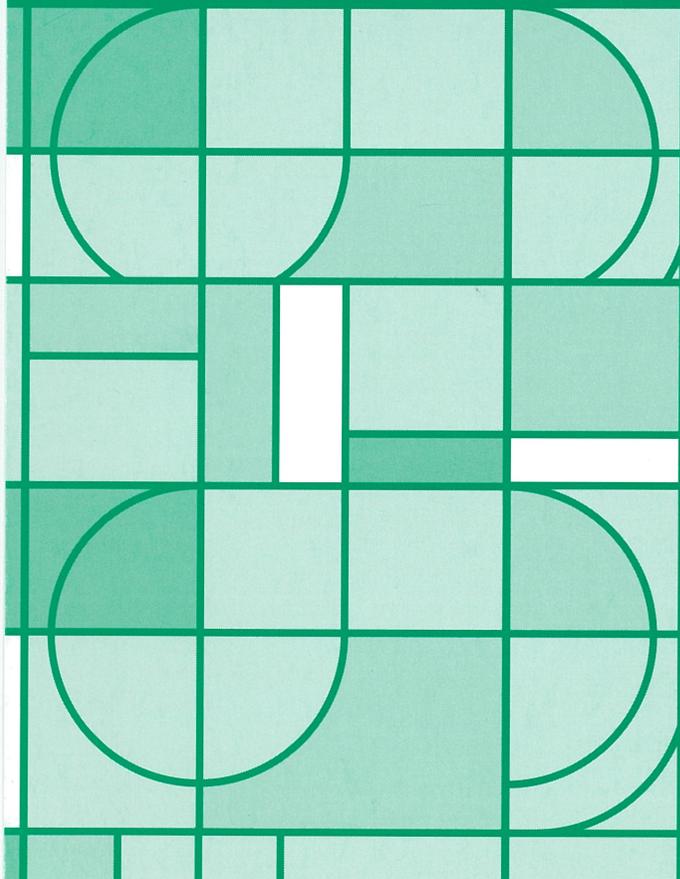
子ども学の源流を次世代につなぐ

幼児の教育

[特集] 保育の「根本考察」にチャレンジ!
幼稚園教育要領が変わるとき、現場は?

[実践] こども園をつくる
「夕方の保育」の可能性を探る

[視点]
ワーキングママの子育てを振り返って



2018
夏

since 1901

第117巻 第3号
お茶の水女子大学
『幼児の教育』編集委員会



「はやく、

みんなに見せにいこう！」

ーピーマンの大収穫ー

写真

子どもの情景 1

目次 まご

自分なり? 2

特集

保育の「根本考察」にチャレンジ! 6

幼稚園教育要領が変わるとき、現場は? 4

《座談会 2018》

幼稚園教育要領が変わるとき 5

《アーカイブズ》

「現場の新幼稚園教育要領」

—「幼児の教育」第八十九巻第十二号
(一九九〇年)から— 19

実践

私の保育ノート

「遊べない三人組」〜三歳の遊びのはじまり

鈴木裕美 24

実践ファイル

いつもとは違う保育の場に身を置いて

中澤智子 28

こども園をつくる

—文京区立お茶の水女子大学こども園の

記録— Vol.9

「夕方の保育」の可能性を探る

宮里暁美・田島大輔

32

連載

倉橋惣三との対話 ⑥

幼児期の「一人一人」と

社会性の成長について (1)

浜口順子 38

目次

表紙の図柄は、お茶の水女子大学附属幼稚園内にある
スタンドグラスの模様をデザイン化したものです。

視点

ワーキングママの子育てを振り返って

宮井真千子

42

夢のたねを見つける

松尾久美

46

文化

園文化をデザインする ⑥

アウトドア気分を夏を演出！

中村絳子

50

探究

韓国解放後から一九八〇年代までの
幼児教育課程の発展過程

—カリキュラム・モデルの開発と
普及に着目して—

林志妍

61

子ども世界のつくりかた

イベント・メディア情報・

「ナーサリー」ほれ話

読者投稿・編集後記 他

62

まだ

自分なり？

「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」を読むたびに、「自分なり」という表現に違和感を感じる。今回の改訂でも、そこは変更なしである（「小学校学習指導要領」にはない）。各領域の「ねらい及び内容」部分で、例えば「自分なりに比べたり」（環境）とが「自分なりの言葉で表現し」（言葉）など。そこで言わんとされているのは、素朴に幼児が自分らしさを発揮するのを肯定的に受けとめることと考えるよいのだろうか。しかし、引っかかる。「私なりに頑張りました」というとき、「こんな私ですが……」という卑下する気持ちが含まれる。だから、人に対しての「〜なり」は気を遣う。目上の方に「貴方なり」や「先生なり」は失礼だし、友達に対しても、「君なりに頑張ればいいんだよ」と言えば相手の気分を害する可能性は大いにある。「〜なり」の語義を調べると、「相応」（『広辞苑』）という意味の他に「不十分なものの限界を容認することを表す。」（『新明解国語辞典』）とある。新しい「幼稚園教育要領解説」には「自分なり」が二十九回、「幼児なり」が三十八回登場する。教師から稚拙に見える表現であっても「幼児なり」だから認めるという「上から」のニュアンスを感じるのは、私がかげそ曲がりだからだろうか。（浜口）

編集後記

新しい「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼
保連携型認定こども園教育・保育要領」の体制とな
って数か月がたちます。保育や教育に生じている「変
わる」「変わらない」「変える」「変えない」といった
実際は、これから「見えてくる」のだと思います。
それらは、「虫の目」「鳥の目」「魚の目」「コウモリ
の目」など、多様な立場のさまざまな視点から見
ることで、より深く捉えることができるのかもしれま
せん。本誌を手にとってくださった読者の皆様とも、
対話ができましたらありがたい限りです。

今号の特集では、要領・指針の改訂をテーマに座
談会を行いました。アーカイブズには、原口純子先
生による1989(平成元)年の幼稚園教育要領改訂時

の記事を取り上げました。110年以上続く本誌の、
数多くある記事の中では比較的新しい時代のもので
すが、それでも約30年の時を経ています。文章と
いう形で遺されることによって、過去から未来へ
伝えられる事実や思考の足跡があります。私たちが
それらを受け取り、学ばせていただくことは少なく
なく、多くの可能性が含まれているように思います。

前号から装い新たになった『幼児の教育』。今号か
ら研究論文も掲載されました。新しい一歩を歩み始
めた本誌が、「子ども学の源流を次世代につなぐ」理
念を実現し、現代と、そして未来の保育・幼児教育
にも生かされ得るように、私も多角的な視点をもつ
て編集に携わっていきたいと思います。(MN)

次号予告 幼児の教育秋号 2018年10月刊行予定

新企画も好評! 充実した内容でお届けします。

- ◇ 保育の「根本考察」にチャレンジ! 7
親と保育者が共に育つ
- ◇ 日本発育発達学会第16回大会シンポジウム
「保育から考える幼児の元気な身体」についての報告 水村真由美氏
- ◇ 見えない子どもたちがはじめて出会う絵本 攪上久子氏

※タイトル内容が変更になる場合もあります。

幼児の教育 夏号 第117巻 第3号

平成30年7月1日発行

編集発行人/浜口順子

編集担当/田中恭子

発行所/お茶の水女子大学

『幼児の教育』編集委員会

〒112-8610

東京都文京区大塚2-1-1

お茶の水女子大学

浜口順子研究室内

youji-no-kyouiku@cc.ocha.ac.jp

発売所/株式会社フレーベル館

電話: 03-5395-6604 (編集)

振替/00190-2-19640

印刷所/図書印刷株式会社

定価/本体880円+税

©お茶の水女子大学『幼児の教育』編集委員会

2018 Printed in Japan 無断転載禁止

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

編集委員/上坂元絵里

菊地知子

松島のり子

宮里暁美

お茶大3園合同研究会

(附属幼稚園、

いずみナーサリー、

文京区立お茶大こども園)

編集協力/フレーベル館

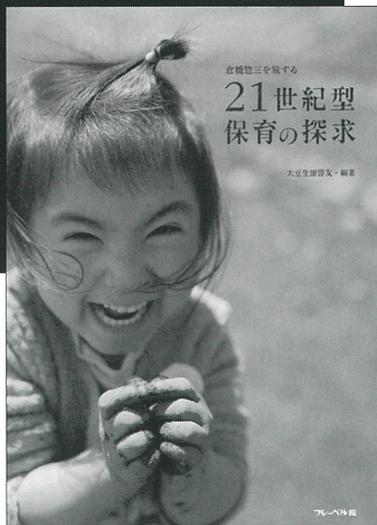
● ご購入のお問い合わせは、フレーベル館までお願いします。03-5395-6613 (営業) ●

フレーベル館 110 周年企画

倉橋惣三を旅する 21世紀型 保育の探求

大豆生田啓友・編著

現代の保育実践や対談を通して倉橋の保育論に今一度立ち返り、日本の21世紀型保育を探求する一。新しい時代を切り開く、保育の新と真を見据えた実践集です。月刊保育雑誌『保育ナビ』で連載している大豆生田啓友先生の最新刊。平成30年から施行される保育の3つの法令を実施する際のヒントにもなる1冊です。



全152ページ 26×18cm
定価 本体 2,600 円＋税
109-66 ISBN978-4-577-81428-4

保育の未来を探るための対談と30の事例



秋田喜代美先生（東京大学大学院）と大豆生田啓友先生（玉川大学）の対談。乳幼児期だけでなく、学校教育全体を含めた世界的な動向と、我が国の保育の新たな方向性について探ります。



倉橋の8つのキーワード「心もち」「生活・遊び」「誘導保育」「自然・環境」「親・地域」「保育者」「小学校との接続」「多様な子ども」から、30の実践事例を紹介しています。

フレーベル館 110 周年企画

倉橋惣三を旅する
小さな太陽倉橋惣三・言葉 小西貴士・写真
大豆生田啓友・選

今も昔も変わらず子どもたちは「小さな太陽」であり、私たちの「希望」—。『育ての心』他の倉橋惣三の詩情豊かな子ども観を、『保育ナビ』表紙でおなじみの小西貴士氏の写真でイメージ化しています。ゆっくりページをめくりたい1冊です。



全48ページ 26×18cm

定価 本体1,300円+税 109-67 ISBN978-4-577-81429-1



子どもの健気な姿や、ユーモア溢れる姿が立ち現れると、ふっと吹き出してしまう、「ま、いいか」と思えることもあるものです。ちょっと見方を変えてみると、私たちの毎日は、彼らに元気づけられていることに気づかされるのです。

大豆生田啓友
解説より

「小さな太陽」— それは、私たちの希望なのです。

新3法令の 公式解説書

平成29年3月に改訂・定、告示された「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の公式解説書。オール2色の読みやすい誌面で、押さえておきたいポイントが理解しやすくなっています。

付録として、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」全文および「学校教育法」等の関連法令（抜粋）も掲載しています。幼稚園教諭・保育士・保育教諭はもちろん、養成校・行政関係者等、必携の3冊です。



文部科学省／著
全384ページ 21cm×15cm
定価 本体 240円＋税
351-11 ISBN978-4-577-81447-5



厚生労働省／編
全472ページ 21cm×15cm
定価 本体 320円＋税
354-11 ISBN978-4-577-81448-2



内閣府・文部科学省・
厚生労働省／著
全486ページ 21cm×15cm
定価 本体 350円＋税
345-31 ISBN978-4-577-81449-9

定価
本体八八〇円＋税